

2017年3月期 第2四半期 決算説明会

2016年11月14日
戸田建設株式会社

本資料には、当社及び当社グループの将来についての計画、戦略、業績の予測に関する記述が含まれています。

これらの記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が予測したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績または展開は、記述されているものと異なる可能性があることをご承知おきください。

本日の内容

1. 決算説明

- 管理本部長 鞠谷 祐士

2. 課題と取り組み

- 代表取締役社長 今井 雅則

1. 決算説明

管理本部長 鞠谷 祐士

1-1. 決算概要

決算概要

単位：億円	2016/3期 第2四半期	2017/3期 第2四半期			
		期初予想	実績	前期比	予測との差異
連結売上高	2,184	2,050	2,041	▲6.6%	▲8
営業利益	109	65	121	10.4%	56
経常利益	119	75	131	9.7%	56
親会社株式に帰属する 四半期純利益	113	65	114	1.1%	49
建設受注高 (個別)	1,674	1,800	2,046	22.2%	246

主な受注工事

	発注者	工事名
建築	成田国際医療都市機構	国際医療福祉大学成田病院新築
	東京都住宅供給公社	コーション仏向原（第3期）建築他
	宮城県 登米市	登米市立米谷病院建設工事
	(学)京都外国語大学	京都外国語大学4号館改築他
	(株)共立エステート	(仮称)ドームイン本八戸新築工事
土木	西日本高速道路(株)	湯浅御坊道路井関トンネル工事
	東京都 水道局	拝島給水所2号配水池築造工事他
	神奈川県 大和市	平成28年度雨水幹線築造工事他

※敬称略、工事名は略称

1-2. 決算詳細説明

【連結】グループの状況

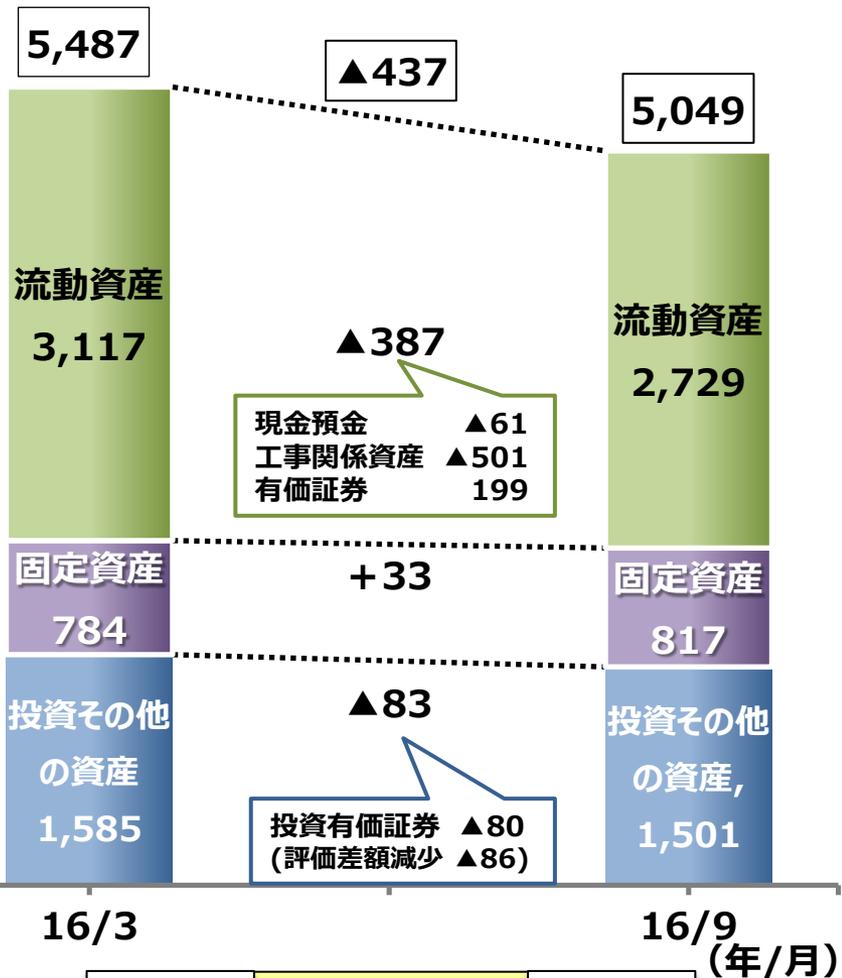
事業		国内子会社	海外子会社	15社
建設	建築	<p>(株)アペックエンジニアリング</p> <p>千代田建工(株)</p>	<p>ブラジル戸田建設(株)</p> <p>戸田建設工程(上海)有限公司</p> <p>タイ戸田建設(株)</p> <p>ベトナム戸田建設(有)</p> <p>戸田フィリピン(株) ABTD(株)</p>	8社
	土木	<p>戸田道路(株)</p>		1社
不動産		<p>戸田ビルパートナーズ(株)</p>	<p>アメリカ戸田建設(株)</p>	2社
その他		<p>戸田ファイナンス(株)</p> <p>戸田スタッフサービス(株)</p> <p>東和観光開発(株)</p> <p>五島フーティングウインドパワー(同)</p>		4社

【連結】グループ業績概況

2017/3 2Q 単位：億円	戸田建設		子会社計		連結		連単 倍率
		%		%		%	
売上高	1,929		182		2,041		1.06
売上総利益	234	12.1	17	9.4	250	12.3	1.07
一般管理費	115		14		128		
営業利益	118	6.2	2	1.5	121	5.9	1.02
営業外収支	8		0		9		
経常利益	127	6.6	3	1.9	131	6.4	1.03
特別損益	▲0		▲0		▲0		
税引前当期純利益	127		3		130		
法人税等	14		1		16		
四半期純利益	112	5.8	1	1.1	114	5.6	1.02
親会社株主に帰属する 四半期純利益					114		

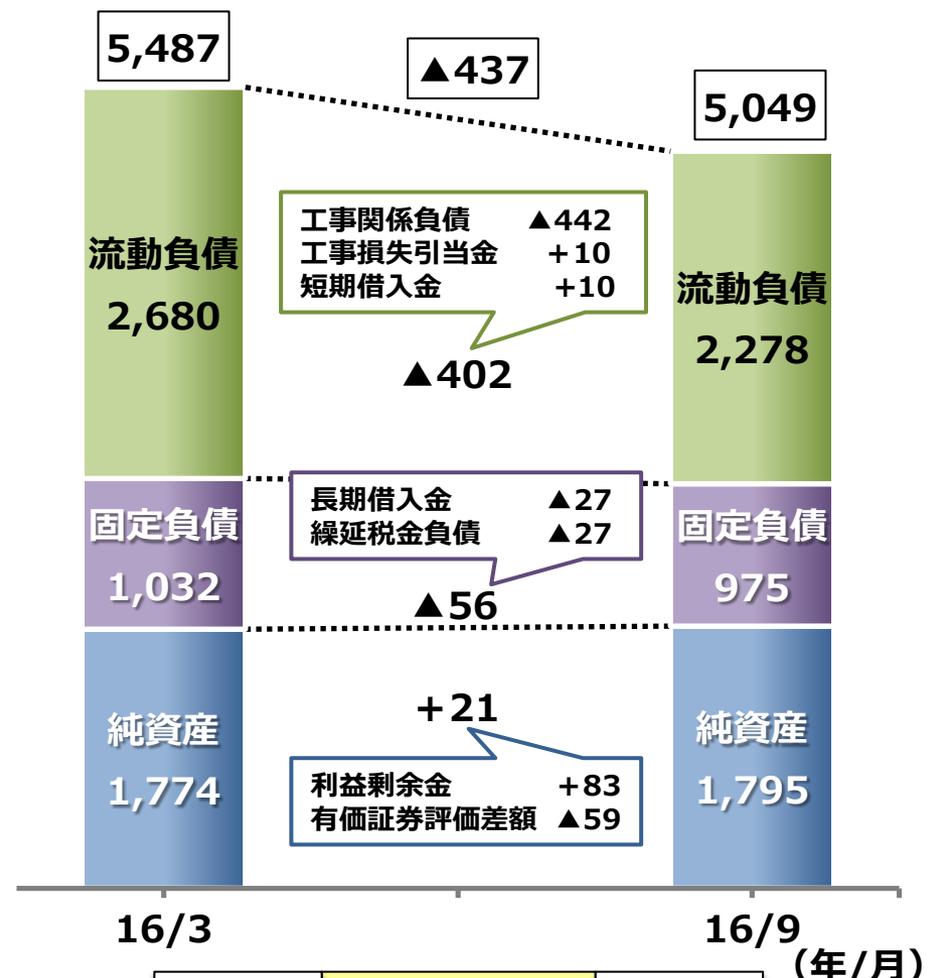
【連結】連結貸借対照表

資産の部 (億円)



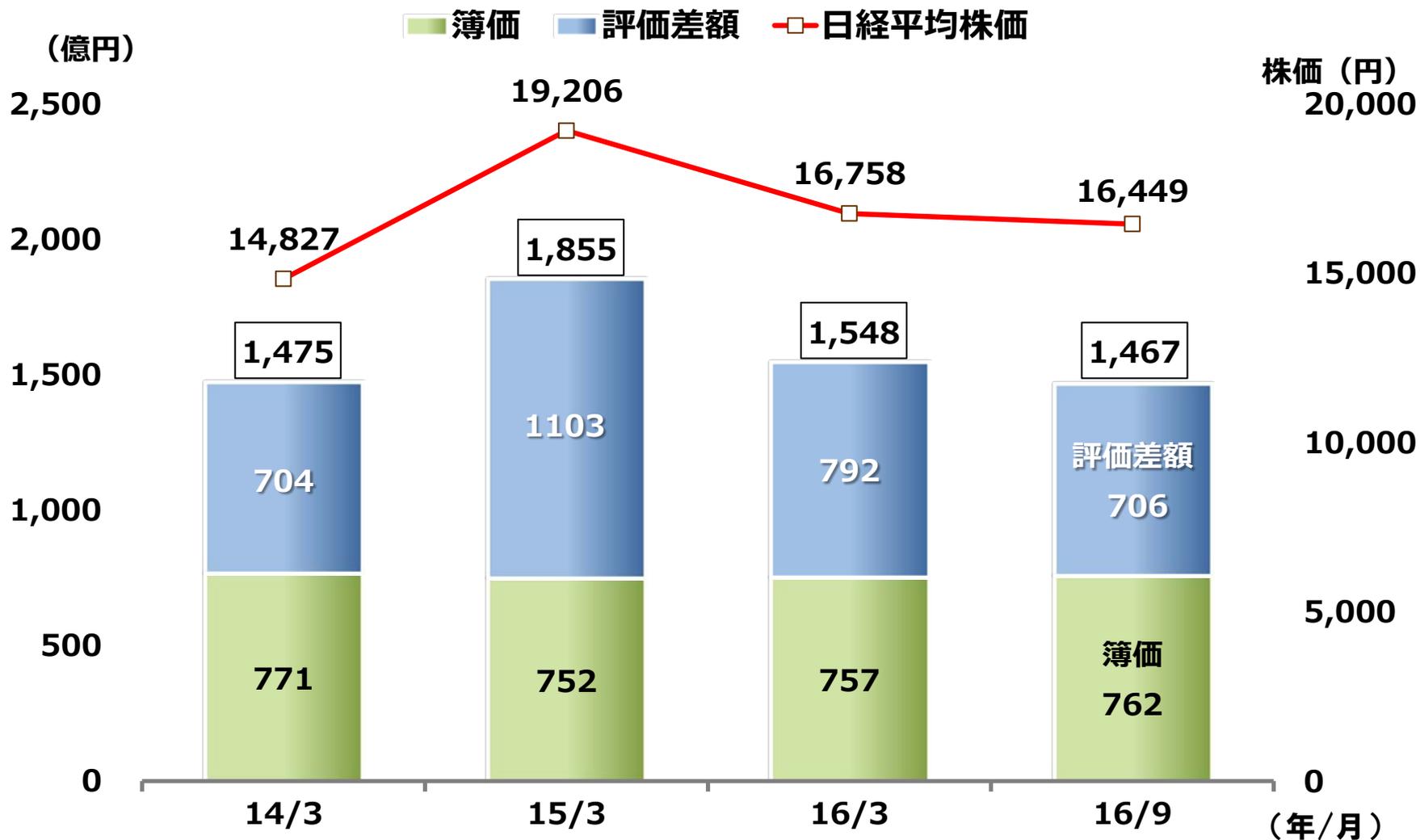
116.3% **流動比率** 119.8%

負債・純資産の部 (億円)



31.9% **自己資本比率** 35.1%

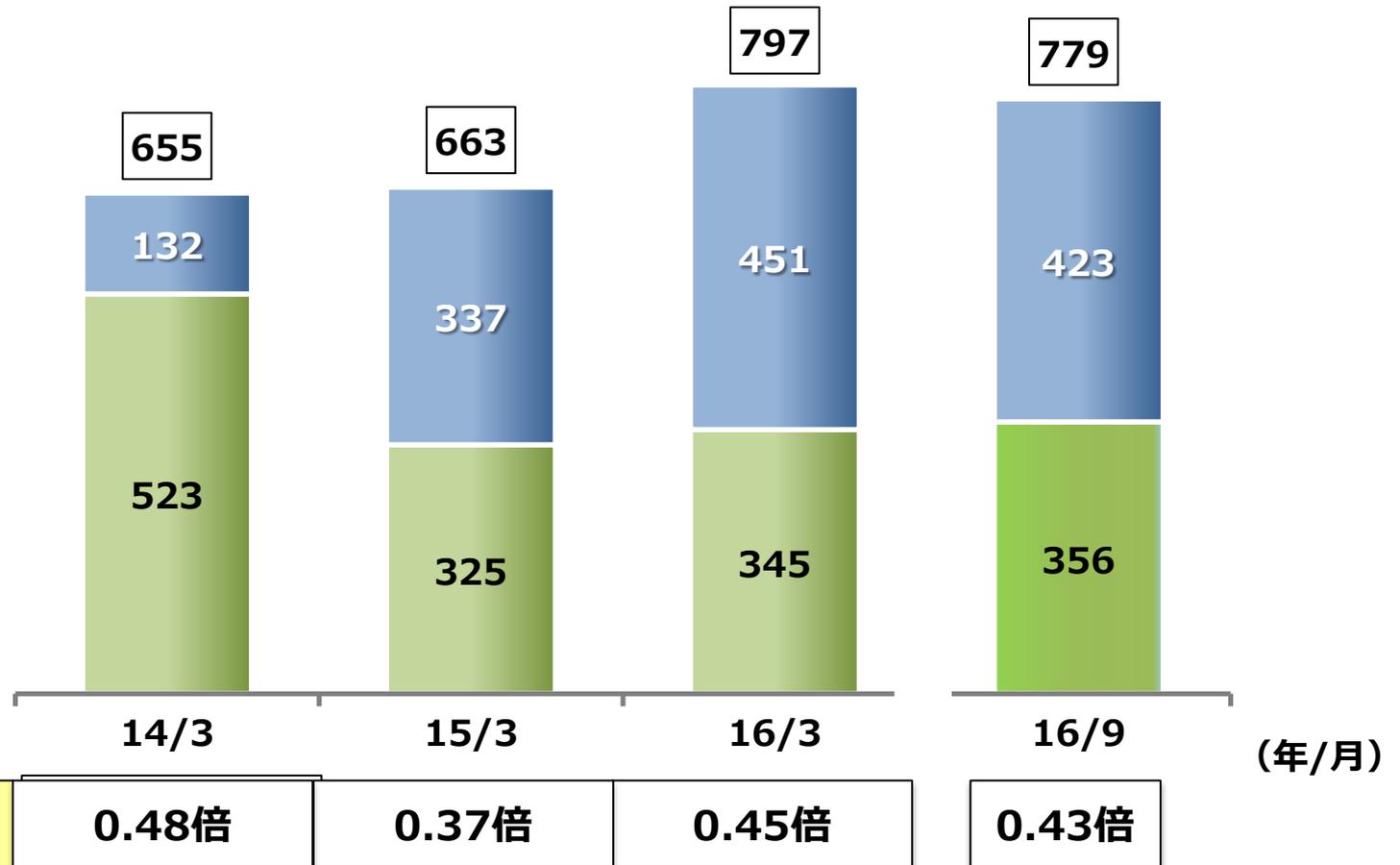
【連結】投資有価証券の推移



【連結】有利子負債の推移

■ 短期借入 ■ 長期借入・社債

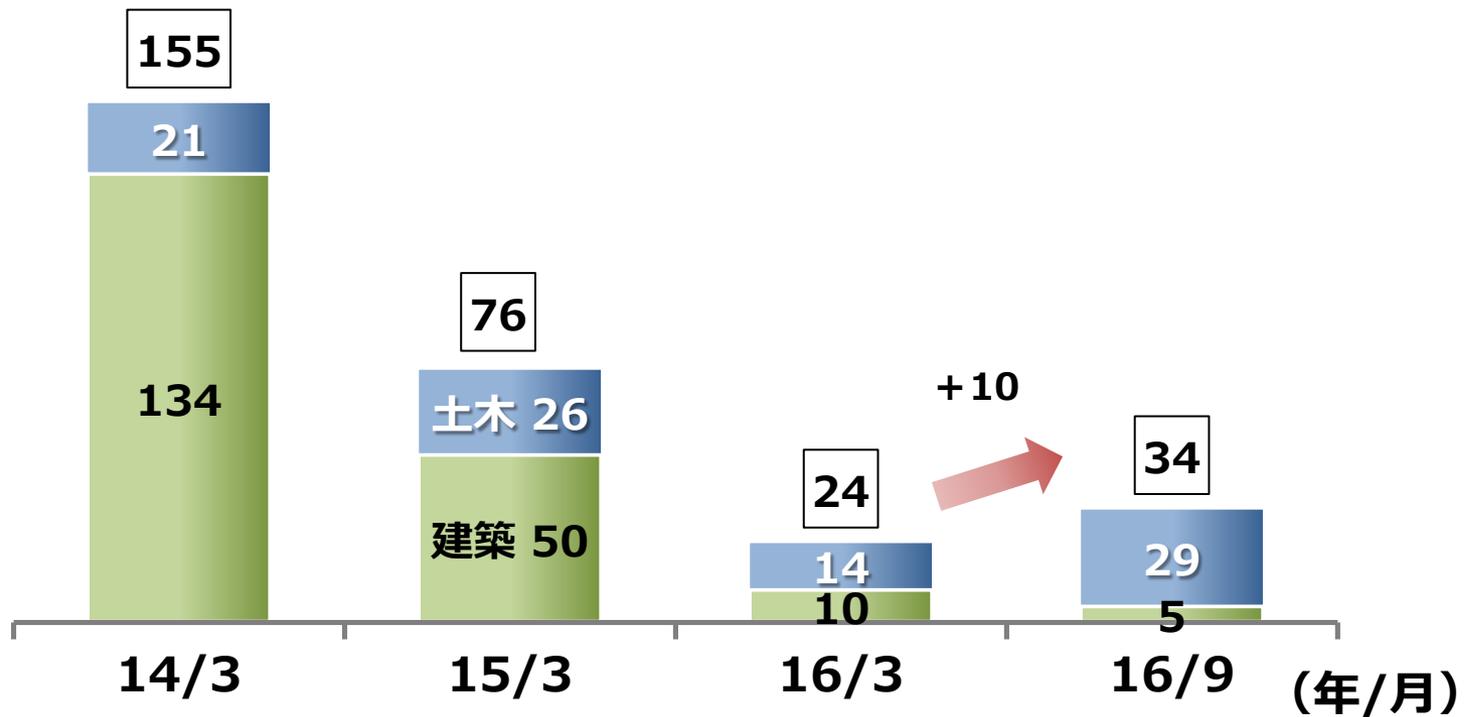
(単位：億円)



【連結】工事損失引当金の推移

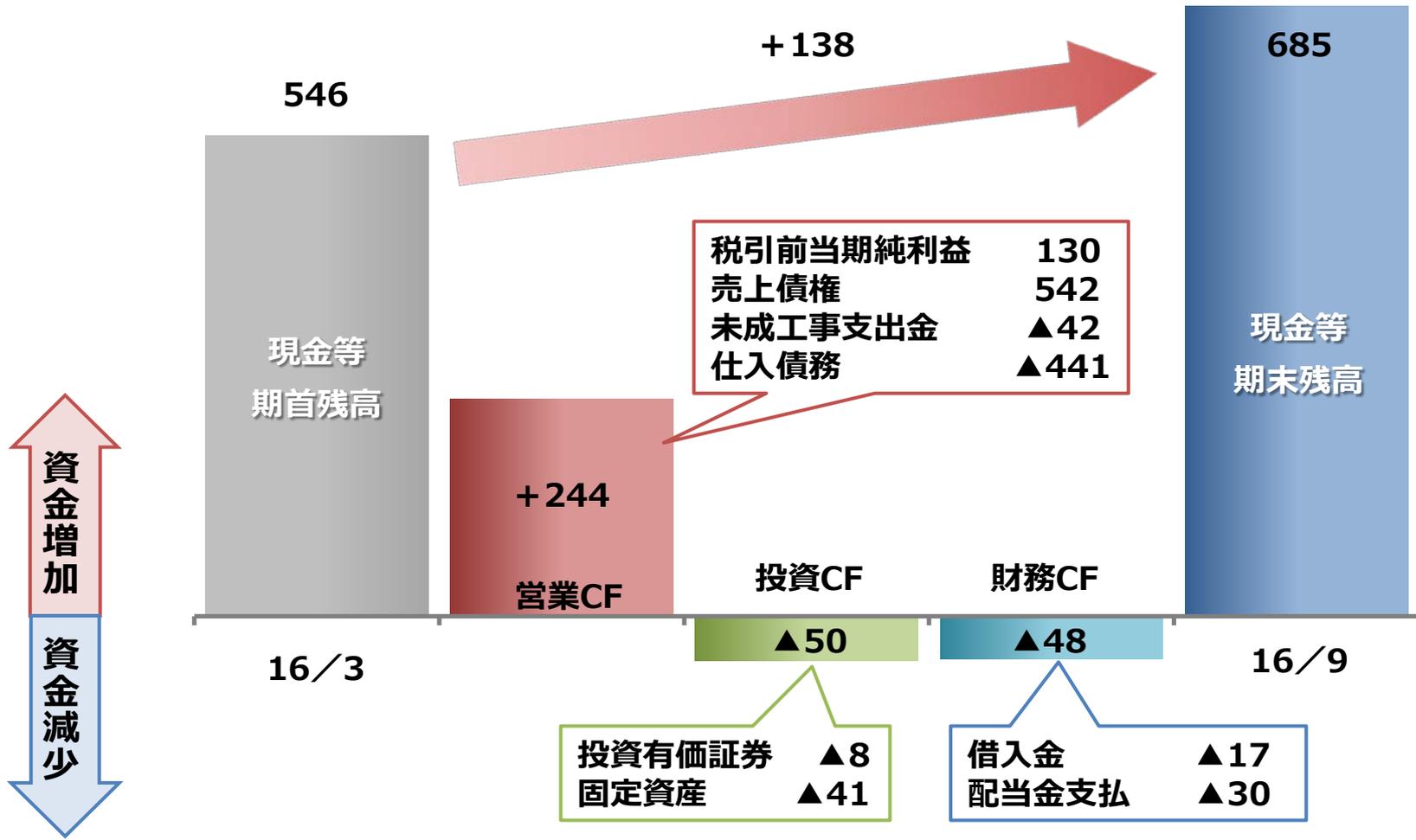
■ 建築 ■ 土木

(単位：億円)



【連結】キャッシュ・フロー

(単位：億円)



1-3. 業績予測

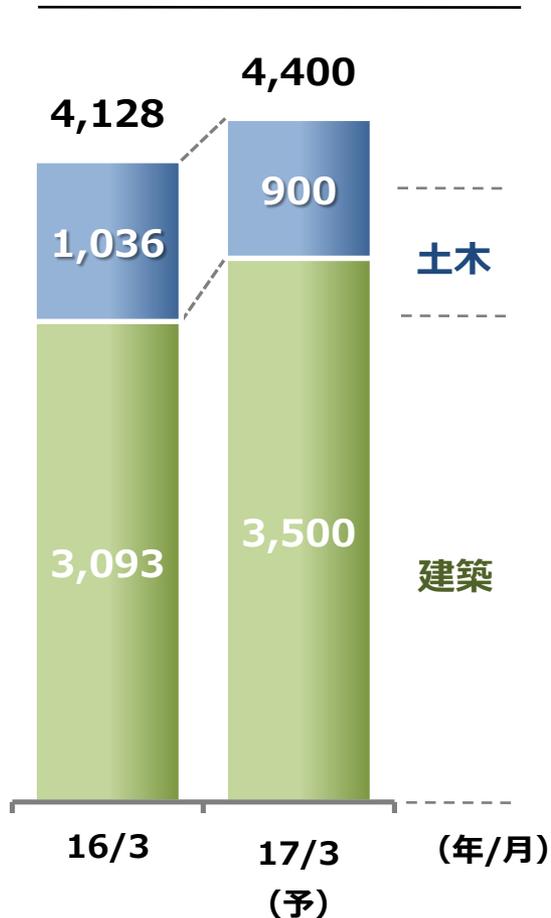
2017年3月期 決算予測

単位：億円	2016/3期	2017/3期		
		予 測	前期との差	
連結売上高	4,926	4,300	▲12.7%	▲626
営業利益	216	200	▲7.5%	▲16
経常利益	237	220	▲7.3%	▲17
親会社株主に帰属する 当期純損益	200	190	▲5.2%	▲10
建設受注高 (個別)	4,128	4,400	+6.6%	+271

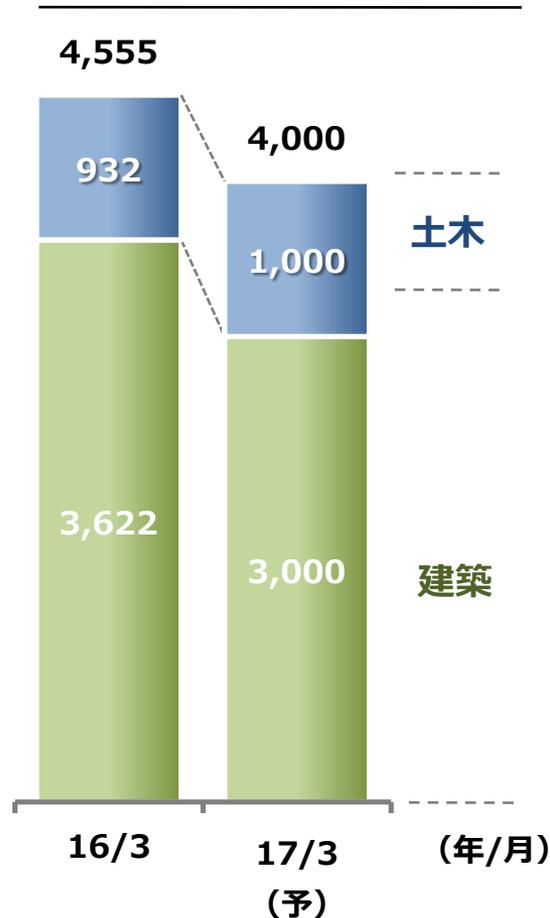
【個別】建設事業の業績予測

(単位：億円、海外を含む)

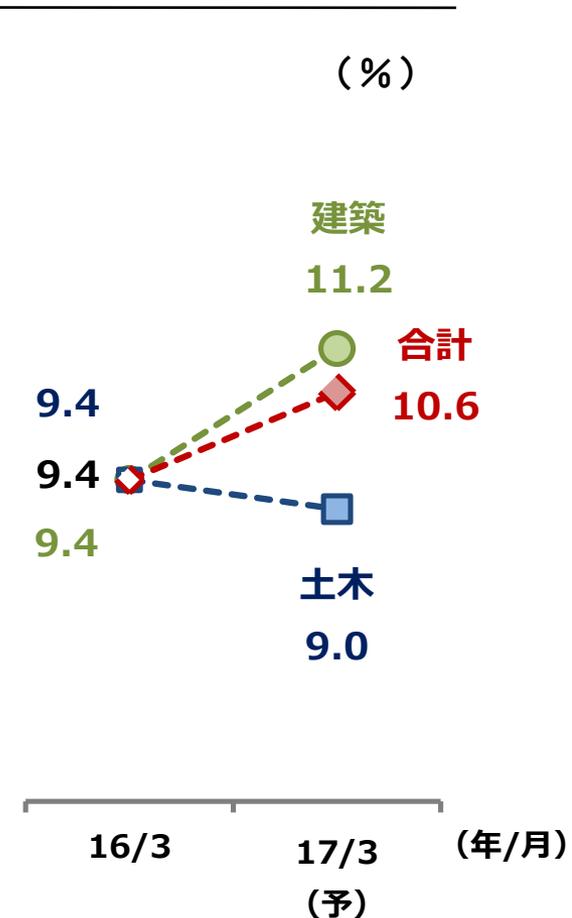
建設受注高



完成工事高



完成工事利益率



2017年3月期 個別業績の予測

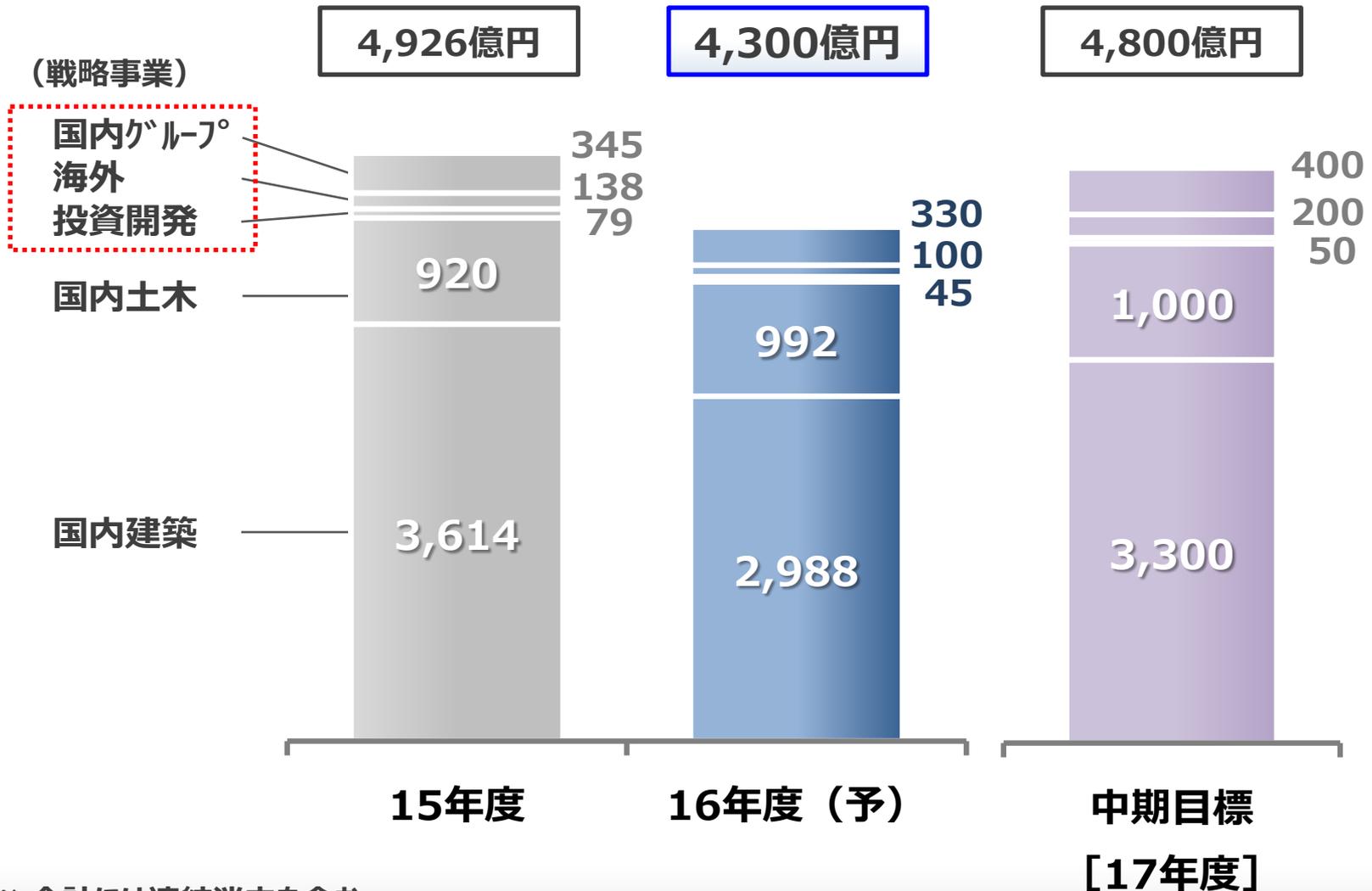
	金額 (億円)	利益率 (%)
売上高	4,045	
売上総利益	440	10.9
建設事業 利益	425	10.6
(建築)	(335)	(11.2)
(土木)	(90)	(9.0)
不動産事業等 利益	15	33.3
一般管理費	245	
営業利益	195	4.8
経常利益	214	5.3
特別損益	0	
当期純利益	188	4.6

2. 課題と取り組み

代表取締役社長 今井 雅則

2-1. 事業別見通し

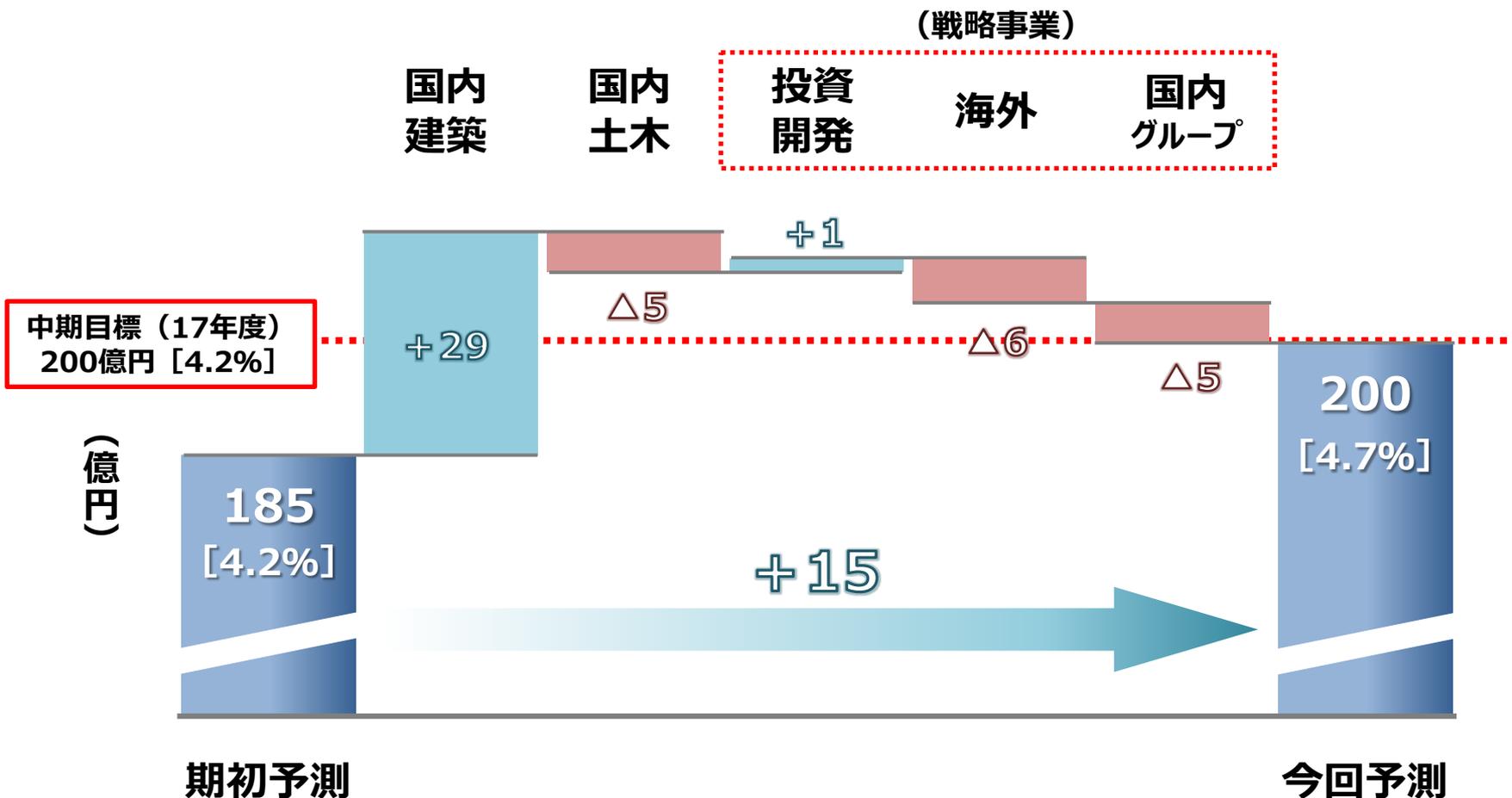
事業別売上高



※ 合計には連結消去を含む。

営業利益増減（対 期初予測）

中期目標200億円の到達が視野に



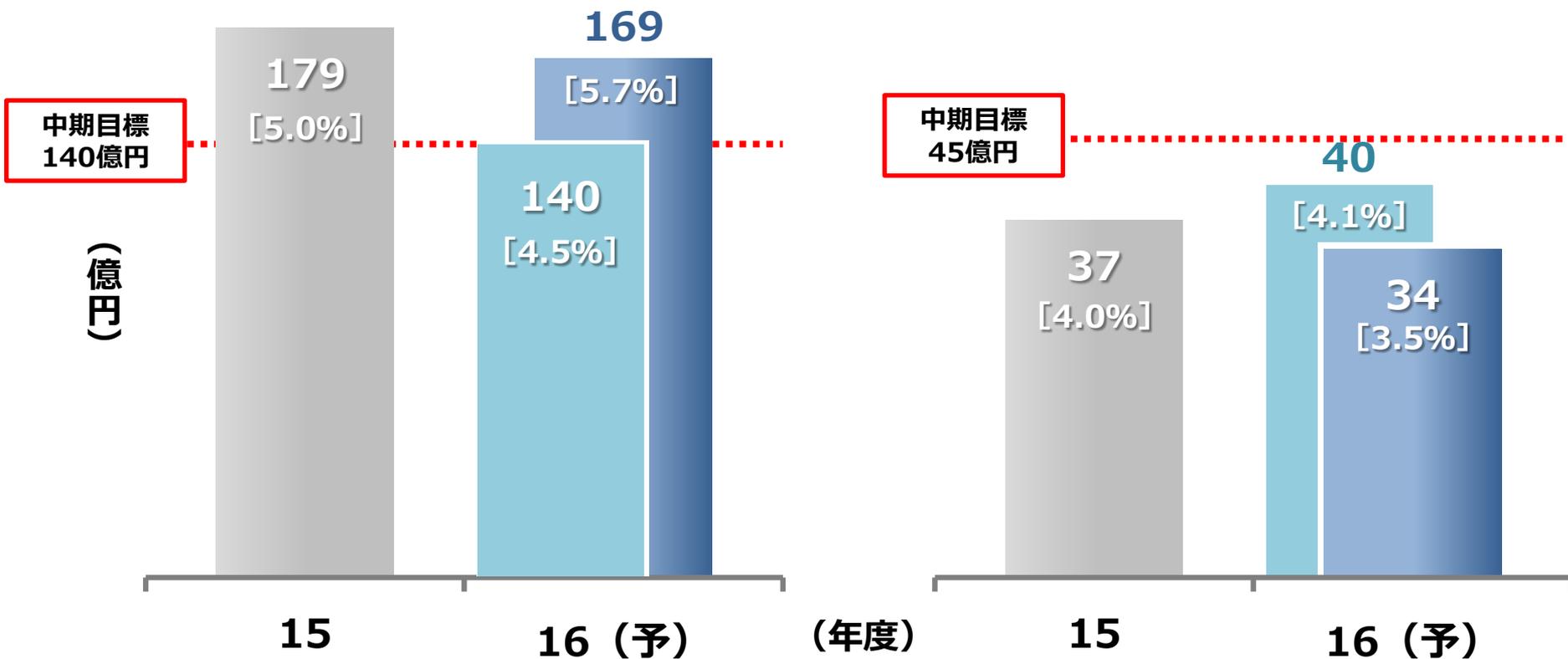
※ [] は営業利益率。

国内建設事業 営業利益

■ 期初予測
■ 今回予測

国内建築

国内土木



※数値には連結消去を含んでいない。[] は営業利益率。

戦略事業 営業利益

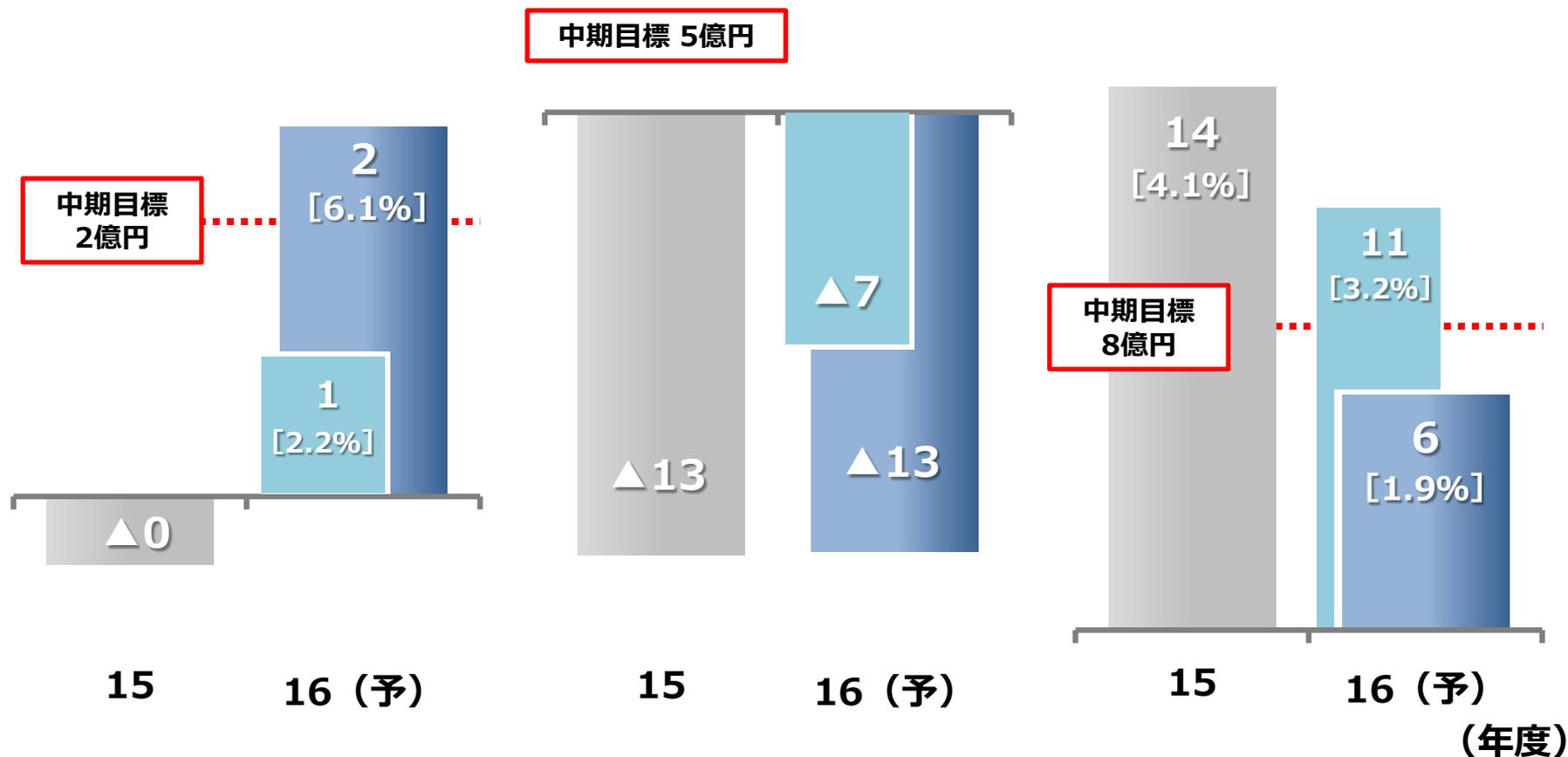
■ 期初予測
■ 今回予測

投資開発

海外

国内グループ会社

(億円)



※数値には連結消去を含んでいない。[] は営業利益率。

課題認識

国内建設事業

- 差別化できる価値・強みの増強促進。
- 一部の工事に採算悪化が見られたものの、その他の工事については概ね良好に推移。

戦略事業

- 収益力強化に向けた取り組みは道半ば。
- 事業推進体制の整備、投資の方針・方向付け等について着実に進展。

生産性・付加価値の向上と定着化

2-2. 取り組みの方向性



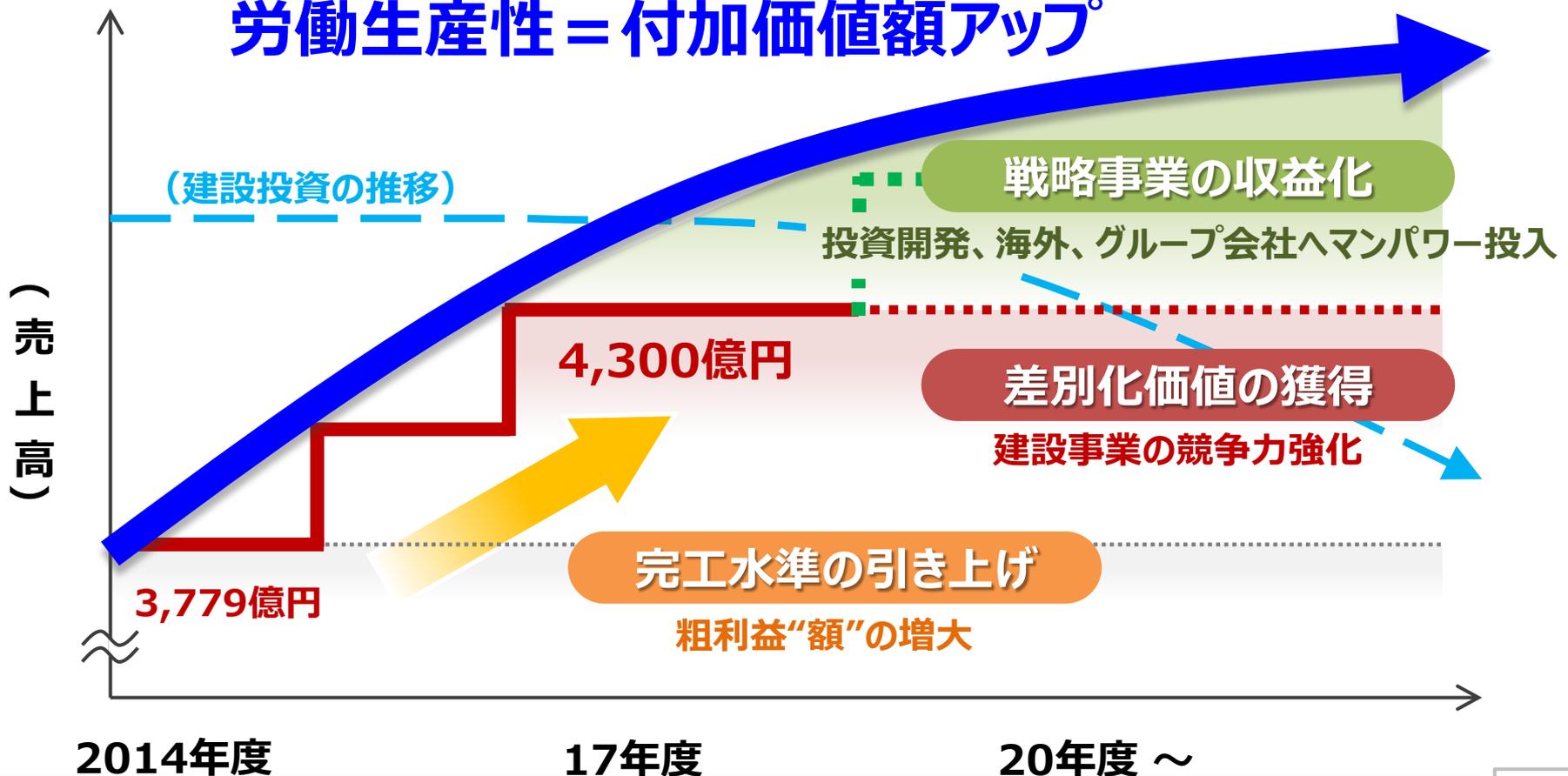
持続的成長へのプロセス

堅調な建設投資

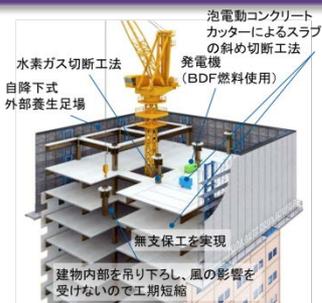
投資減少

競争激化

労働生産性 = 付加価値額アップ



解体



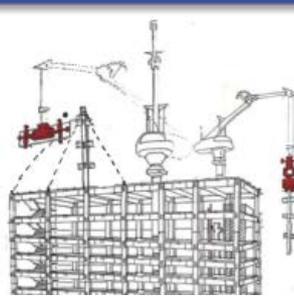
TO-ZEROシステム
(解体システム)

地下工事



掘削土垂直コンベア等による
施工効率化

地上工事



ロボットハンドによる施工効率化

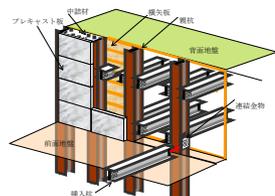
施工管理



IoTを活用した生産管理システム



自降下式外部養生足場



切梁レスの新型土留め



鉄骨柱の
鉄筋取付ロボット 自動建入システム



タブレット端末による施工管理



水素ガス切断



地中壁の急速施工技術
(Award-Para工法)



パワーアシスト 重機の遠隔操作



ウェアラブル端末による施工管理



カッター工法



地下搬送クレーン



PCa化の推進



ドローンによる空撮情報利用



凍結処理工法



地下外壁の先行建込み技術
(SLIT工法)



自動搬送システム



スターターBIMモデル供給

目指すべき 施工システム



戸田式自動化施工システム



GNSSを用いた転圧管理



完全自動制御による敷均

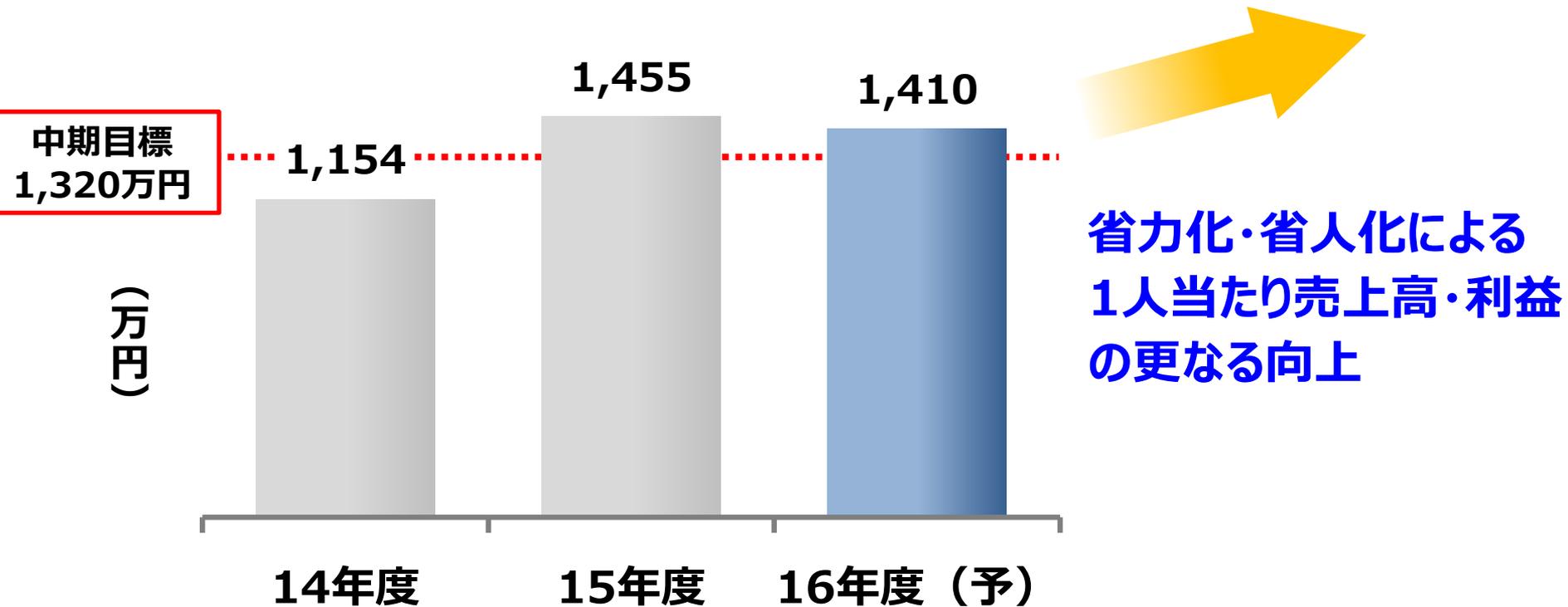


のり面整形ガイドシステム

統合型施工管理システム

労働生産性の向上

労働生産性（個別）



※ 労働生産性 = 営業利益/人（売上高/人 × 営業利益率） + 総額人件費/人

戦略事業の強化

事業拡大にあわせて人財流動化を推進

投資開発

京橋一丁目PJの推進

浮体式洋上風力発電
の事業化

新規物件の取得、保有
不動産の有効活用

海外

海外土木工事の展開

ブラジル・東南アジア統
括事務所の体制強化

国内グループ会社

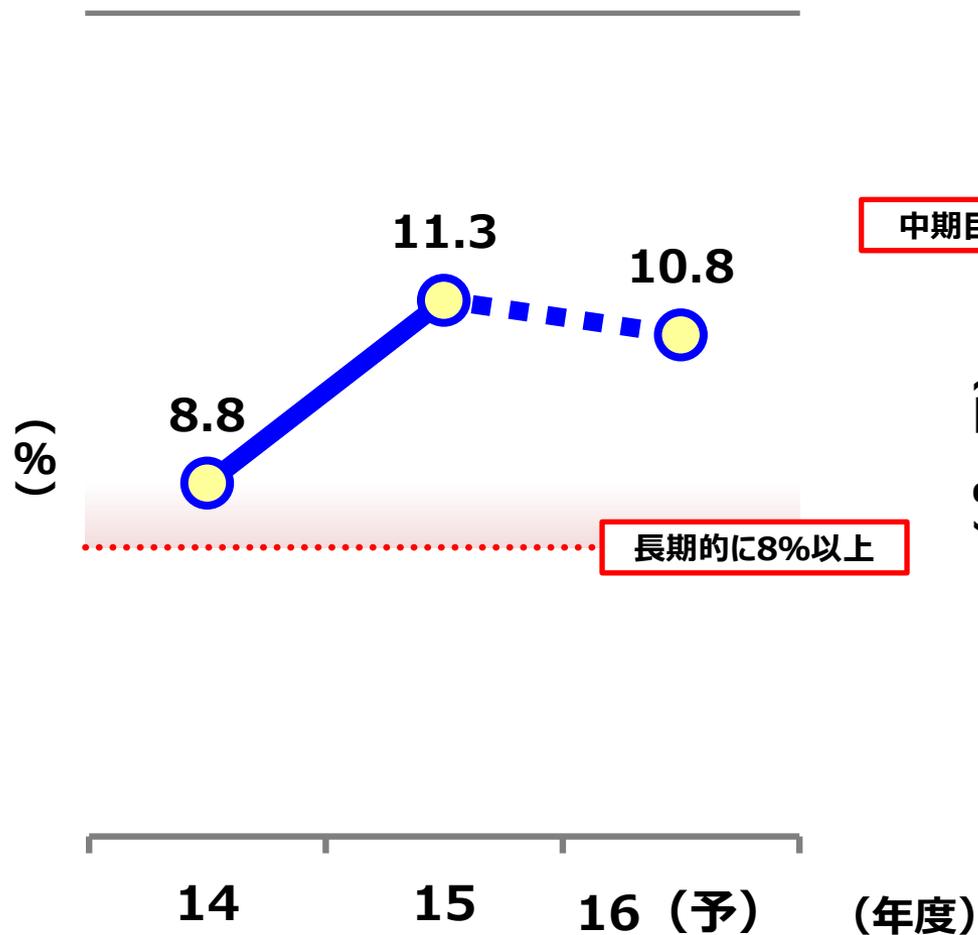
各社事業領域の拡大

建設ライフサイクルに
おけるトータルコーデ
ィネーションの推進

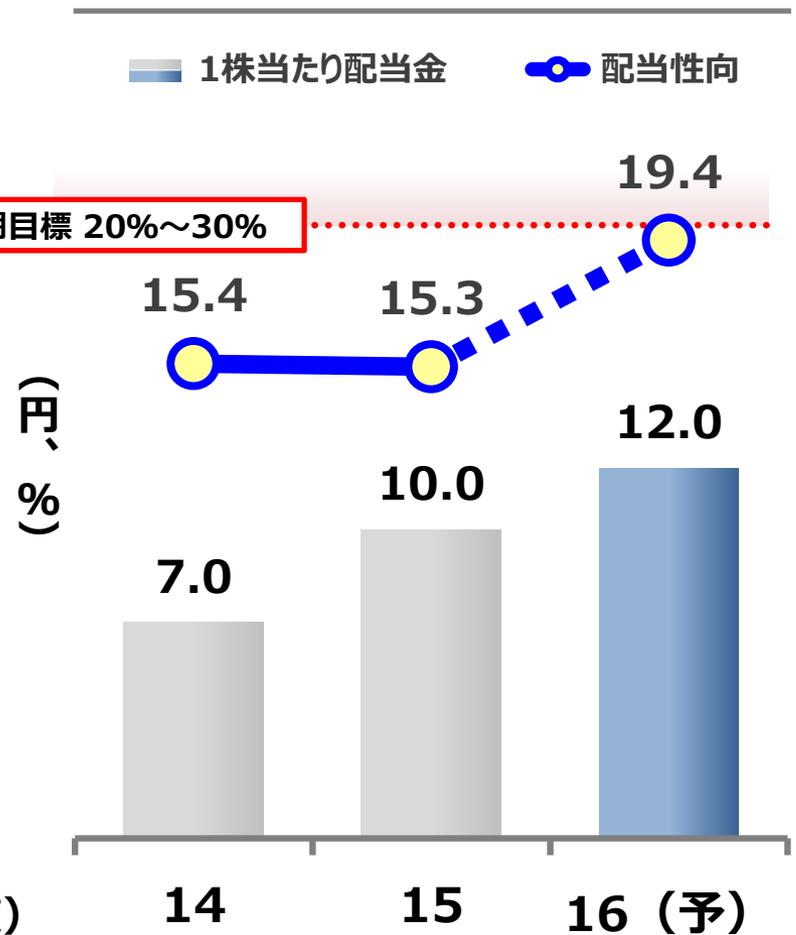
**国内建設事業から人財を異動
(新戦力化)**

資本効率・株主還元

ROE（自己資本利益率）



1株当たり配当金・配当性向



社会貢献活動の推進



気候変動対策で最高評価！



撮影：西山芳一

浮体式洋上風力発電



燃料電池船

「The Climate A List 2016」において、世界で193社、日本で22社が、CO2排出削減活動などの気候変動緩和対策で特に優秀な企業として認定。

次の飛躍に向けて

取り組みを進化させ、持続的成長の実現へ

2015年度

2016年度

2017年度

2018年度 ~

生産性No.1

成長への基盤

業績目標の
早期達成

飛躍への足固め

生産性の取組強化
戦略事業の整備

連結売上高 4,800億円
営業利益 200億円
[4.2%]
労働生産性 1,320万円

(修正目標：2016/4策定)

連結売上高 4,800億円
営業利益 170億円
[3.5%]
労働生産性 1,300万円

(当初目標：2015/4策定)

差別化技術の展開
事業投資の実行

持続的成長
の実現

“喜び”を実現する企業グループ



戸田建設